

〈おんだより〉 9月 No.1

暑さ続きで、子どもたちは汗びっしょり^汗熱中症の
用心用心ニ^{でも}ふと吹く風に涼しさを感じたり、
^夜虫の音が聞こえてきたり(ゴキブリ?) 少し秋
になっていくんだと思います。でも、まだまだ続く
この暑さ、むきっつき暑さ対策しかりやっていかなければ
なりません。9月は、10月7日の運動会に向け、さくらさん
など少しずつ活動をそれに向けていきますがどのクラスも
ゆっくり、ゆっくりすすめて行きます。

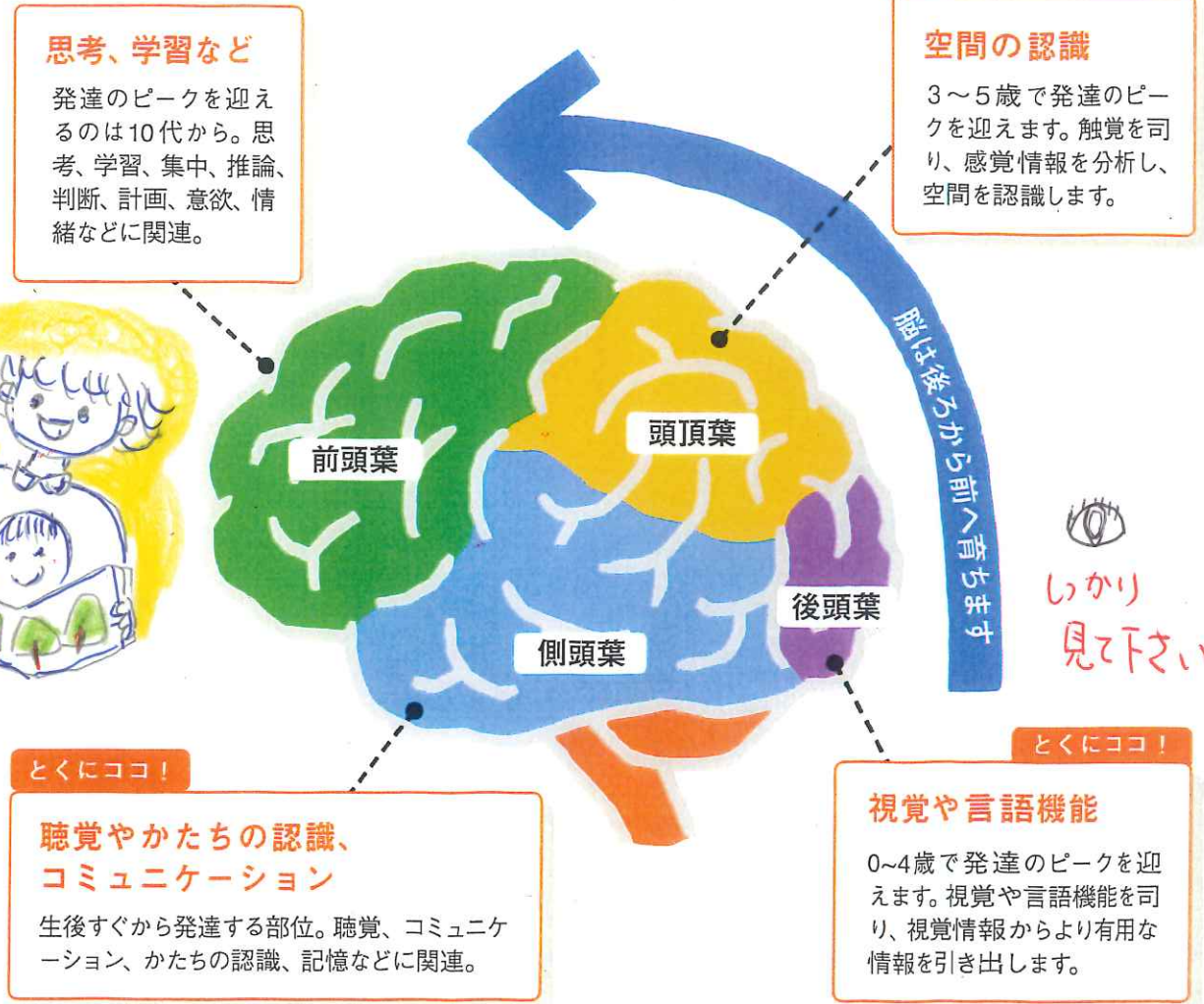
9月予定

- 7日(木)劇団 杉の子 人形観劇「たのきゆう」
- 23日 お彼岸の中日・秋分の日 (20~26・おひがんです)
- 20日 誕生会
- 28日 御命日 ^{いづも}たくさんお花ありがとうございます。

右の文は、絵本(親子での)の大切さを脳を使って
表わされています。^{*}その前にゲーム、スマホ、ユーチューブ等は、
子どものやめられない脳をおかします。まず、大人が
あつものをストップしないと....親子で絵本をよみましょう。

親子で絵本を読むことは 脳の発達をベースをつくります

脳は「後ろから前へ」徐々に発達していくのが特徴です。
とくに0~4歳頃に発達のピークを迎える後頭葉は、視覚や言語機能に
関係する部位。
乳幼児期に絵本をたっぷり読むことは、自ずと視覚や聴覚に訴えることになり、
脳の発達をベースとなる部分に刺激を与えます。



絵本の時間が「脳にいい」のは本当です
子どもに絵本を読むことに
対し、大人はつい「頭がよくな
るかも」などと期待をしてしま
いがちですが、実際どうなので
しょう? 脳研究者の細田千
尋さんにうかがいました。
「もちろん、読み聞かせで脳の
さまざまな部分が刺激されま
すし(上段参照)、結果として
は学力にもつながってきます。
でも、まずは知育ではなく、コ
ミュニケーションのひとつとし
て『絵本の世界に没頭するこ
と』が大事。親子で絵本を読む
ことは、乳幼児期に欠かせな
い、親子の愛着を育てる手段
としても有用です」
(月刊クレーン 2021年9月号より)